

－ 高槻さくらフォーラム － 議会だより 平成23年秋
高槻市議会議員 田村規子の

発行者：高槻市議会議員 田村規子 事務所/高槻市梶原1-10-6 TEL684-2220 FAX647-6398



高槻市議会議員

田村規子(たむらのりこ)

★昭和38年5月高槻市梶原生まれ(旧姓・長谷川規子)

★高槻市立五領小学校、五領中学校、ノートルダム女学院高校、京都ノートルダム女子大学卒業

★京都宝ヶ池プリンスホテルに5年間勤務

★社会保険労務士。

★平成23年高槻市議会議員に初当選。すべての市民が元気で明るく暮らせる、コミュニケーションあふれるまちづくりを目指して活動中。

9月議会

一般質問「本市の防災体制について」

9月7日より28日まで22日間の会期で平成23年第4回定例会が開かれました。

その本会議で初めての一般質問をしました。



質問内容

(質問)

災害時における警報や避難勧告などはどのような方法で伝達するのか。

(答弁)

防災行政無線や広報車を通じた周知に加え、地区コミュニティや自治会並びに自主防災組織などの連絡網で伝達します。

(質問)

自主防災組織結成比率が50%に満たないですが、明日にもやってくるかもしれない災害のために、どのような対策を講じているのか。

(答弁)

出前講座や防災指導員の養成により自主防災組織の拡充を図るとともに、防災リーダーの配置などの取組みを行っております。

(質問)

避難所運営のマニュアル等はあるのですか。あるのであれば、その中では、女性の視点(仮設トイレや更衣スペース、女性用洗濯物干し場、授乳スペースなど)をふまえているのか。

(答弁)

避難所運営マニュアルは現在、策定中であり、今後、女性や高齢者などのご意見をいただきながら策定してまいります。

(要望)

想定外の災害が起こった時、ライフラインが寸断され、道路が遮断された場合は外部からの援護ができなくなる。その時には、共助の力に頼るしかないのに、自主防災組織比率が50%に満たないことは大きな問題です。市民の生命と財産を守るためにさらなる対策を講じていただくことを要望します。

また、ケーブルテレビと連携して災害時の最新情報伝達に積極的に取り組んでほしいこと、そして防災の専門家を育てている本市にある関西大学とも具体的な協力体制を確立して、行政の能力を常に磨いていただくことを要望します。

一般質問とは

個々の議員が行う質問で、議員が行政全般にわたり、執行機関(市)に対し事務の執行状況や将来の方針等についてただすことをいいます。本市では、一回の定例会で、議員ひとりに対し45分の時間が与えられ、3回まで市役所側に質問をすることができ答弁を求めることができます。また、一般質問の項目は議員が自由に決めることができます。

福祉企業委員会

第4回定例会中の9月13日に開かれ、次の質問をしました。

「生活保護年金調査員について」

本年10月より始まる生活保護者に対する年金調査員が行う業務は、複雑で豊富な実務経験が必要なので、その選考基準と、その調査員の配置後の業務のチェック体制について問いました。また専門性の高い調査員を入れることで、周りのケースワーカーへもよい影響を与えることになるのでその業務知識のレベルアップにつなげるよう求めました。

「児童扶養手当の増額補正について」

近年、児童扶養手当の新規受給者が増加傾向にあるので、

その母子家庭等のひとり親家庭が直面している経済的負担を軽くすることだけでなく、どのような自立支援をしているのかを問い、早い時期にその家庭が自立できるような適切な支援を選択し提案することを求めました。

福祉企業委員会とは

本会議で市役所側より提出される議案のうち、福祉と企業に関する議案を専門的に審査する委員会です。ここでいう「企業」とは「自動車運送事業(市営バス等)」と「水道事業」のことをいいます。

本定例会で採択された主な補正予算議案

- 障害者自立支援の共同生活介護の家賃助成(950万円)
- 生活保護年金調査員の配置(150万円)
- 上牧地区道路(バス路線)整備の調査設計(700万円)。
- ふれあい喫茶等の地域の交流の場整備事業の経費に対する補助(300万円)。
約2億7,500万円が一般会計に計上となりました。

安満遺跡芝生公園等の関連議案は継続審査に

安満遺跡芝生公園等整備に関連する用地費など138億5,000万円の債務負担行為を盛り込んだ3議案は、さらに審査の必要性があるとして、継続審査とすることになりました。

平成22年度の決算認定のため決算審査特別委員に就任



10月17日より4日間、委員として決算認定の審査を行いました。

委員会の審査は、「後期高齢者医療」のみ賛成多数で、「一

般会計」をはじめとするその他は、委員全員賛成という結果でした。この審査結果が12月議会で報告され、決算認定の採決が行われます。

私は、審査のため下記について質問をしました。

- ・ 職員のメンタルヘルス相談について
- ・ 職員の管理職研修について
- ・ 高齢者福祉サービスについて
- ・ 企業誘致について
- ・ 「いましろ大王の杜」のPR活動について
- ・ 連携型小中一貫教育について

新名神・交通体系等対策特別委員会が開かれました

10月11日に、「新名神高速道路の整備促進について」特別委員会が開かれ、現地視察をしました。まず、高槻ジャンクション工事現場の成合地区では、周辺の模型で説明を受けました。その後、新設される萩谷トンネル付近(原大橋上流部)と、成合から原につながる原成合線の工事現場(原)を視察しました。

このほかにも、新名神に伴うアクセス道路(東道路、南平台日吉台線)や、工事用道路がこれから整備されていき

ます。この新名神は、高槻から神戸までの40.5kmを当初の開通目標では平成30年度末としていますが、1年でも2年でも早い開通を目指して事業が進められています。高槻ジャンクションでは名神高速道路と、神戸ジャンクションでは中国自動車道とつながり、利便性を高めることとなりますが、周辺のアクセス道路も含めて、環境や安全に配慮することが必要ですので厳しくチェックしていきます。